

～ 秋のダイナミックワールド ～
赤の3組(年少児)で展開されている遊び

ドングリトンネル

お散歩で拾ってきたドングリや、おうちから持ってきたドングリを転がして遊びたいという声から生まれた遊び。はじめは、牛乳パックを長くつなげたものや段ボールの板を斜めに置いたりして坂道をつくり、ドングリを上から転がして遊びました。そのうちに、「トンネルをつけたい」という声があがったので、牛乳パックでつくったトンネルを子どもたちと相談しながらいくつも貼っていきました。ところが、転がしたドングリが床に散らばってしまうといった困ったことも出てきました。「(坂道の)下のところにドングリが入るカップや箱を置いたらどう？」という子どもの意見から、坂道の周りに段ボールを置き、受け皿にすることになりました。どのトンネルを通過したらカップに入るのか試したり工夫したりしながら遊ぶ姿が見られます。最近では、カップにドングリが入ったら「ごほうびがほしい！」という意見が出て、シールが貼れるごほうびカードも登場してきています。



ドングリハウス

ドングリを使って遊ぶなかで、「ドングリさんのおうちをつくりたい！」という声があがり生まれた遊び。以前からクラスで遊んでいた「段ボールのおうち」を土台にしてつくることにしました。「ドングリさんは秋のお山にいるから、オレンジや赤、黄のおうちがいいな」という声が聞かれたので、絵の具を使って色づけしていくことにしました。色づけする際には、「絵の具をダイナミックに塗る経験をさせてあげたい」という保育者の思いから、ローラーを使って塗りました。さらに、葉っぱをイメージして描いたものも貼っていきました。子どもたちとどんなおうちにしたいか話し合いながら、ドングリを転がすことのできるトンネルをつけたり、おうちの中を覗くことができる穴もあけたりしていきました。今は、「♪ドングリころころ」の歌の歌詞に出てくる池づくりも始まり、ますます発展していきそうです。



ペンダントづくり

お散歩で拾ってきた葉っぱを「きれいだね」と眺めていた子どもたちの姿を見て、保育者が葉っぱにパンチで穴をあけ、毛糸を通してネックレスのようにして見せたことで発展していった遊び。葉っぱのネックレスを見て、「かわいい」「私もつくりたい」と興味をもった子どもたち。落ち葉以外にも、いろいろな形に切った色画用紙やストローも使い、様々な素材を使ってネックレスをつくっています。指先を使った細かい作業ですが、集中してじっくり遊ぶ姿が見られます。



ドングリのケーキづくり

身近な素材とドングリや小枝を組み合わせ、ケーキに見立てた子どもたちから生まれた遊び。保育者が段ボールをテープ状に切り丸めた物を机に置いておくと、それをいろいろなものに見立てて遊び出した子どもたち。やがて、お散歩で拾ってきたドングリや小枝を組み合わせて「みて～！ケーキみたい」と遊びだしました。ただ、のせただけではドングリが転がってしまうため、落ちないように固定する方法はないか子どもたちに問いかけると、「糊だと弱い」との声。保育者がボンドを提案すると、使い方の約束を聞きながら、楽しそうに使っていきました。「かわいいケーキにしたい」ということから、ドングリや小枝以外にも、ストローやモールなども飾って、彩り豊かなケーキが出来上がっていきました。



楽器づくり

素材コーナーから見つけてきた容器の中にドングリを入れ、楽しそうに音を鳴らしていた子どもたちから生まれた遊び。日頃から、オープンスペースの素材コーナーにある様々な素材を使って自由工作をしている子どもたち。ある子が、素材コーナーから見つけてきた容器の中にドングリを入れ、音を鳴らして遊びだしました。容器の中に入れるドングリの数を変えると音も変わること気づく子どももでてきました。マラカスづくりから始まった楽器づくりですが、箱や容器をつなげてギターをつくる子どももあらわれ、発展してきました。BGMに合わせて楽器を鳴らして遊んでいます。



ケンケンパ

サツマイモのツルでつくった輪を子どもたちが床に並べジャンプし始めたことがきっかけで生まれた遊び。今年は、サツマイモのツルがとても長くて太く、たくさんとれたので、遊びの中で何かに使えるのではないかと保育者がクラスに置いておくと、それに興味をもって集まってきた子どもたち。「つなげてみよう！」「丸くしてみたい！」という声が聞かれ、輪をつくと、それを長く並べジャンプして遊び始めました。両足ジャンプですすんだり、ケンケンパのリズムに合わせてジャンプしたりして遊んでいます。時には、友達が上手にジャンプできるようにと、友達の手をとり、支えてあげる微笑ましい姿も見られます。最近では、端と端からスタートして、向かい合ったらジャンケンしあうなど、新しいルールも生まれてきました。



ドングリのお箸つまみコーナー

楽しみながら箸に慣れていってほしいという保育者の願いから生まれた遊び。10月から給食で箸に挑戦している子どもたち。遊びの中でも楽しく箸に慣れていってほしいと、箱に入っている細長いドングリを箸でつまみ、カップに移すゲームを用意してみました。「見て～、たくさん入ったよ！」「あれ～、落ちちゃった。もう一回やろう！」などと友達と一緒にチャレンジしています。ドングリ以外のものも、箸でつまめるか挑戦しています。

